



二人の英雄が創った時代



織田信長と豊臣秀吉

高校入試対策・安土桃山時代マスター講座

目指すは「天下統一」 - 終わりになき戦乱の世に現れた二人の男

16世紀後半、室町幕府の力は衰え、日本は戦国大名が争う「下剋上. 上(げこくじょう)」の時代がありました。この混乱を終わらせ、再び日本を一つにまとめようとする「天下統一」事業を推した進めたのが、織田信長と豊臣秀吉です。

このプレゼンテーションでは、二人の英雄の対照的な道のりを追いながら、安土桃山時代の重要ポイントを学びます。

試験のポイント

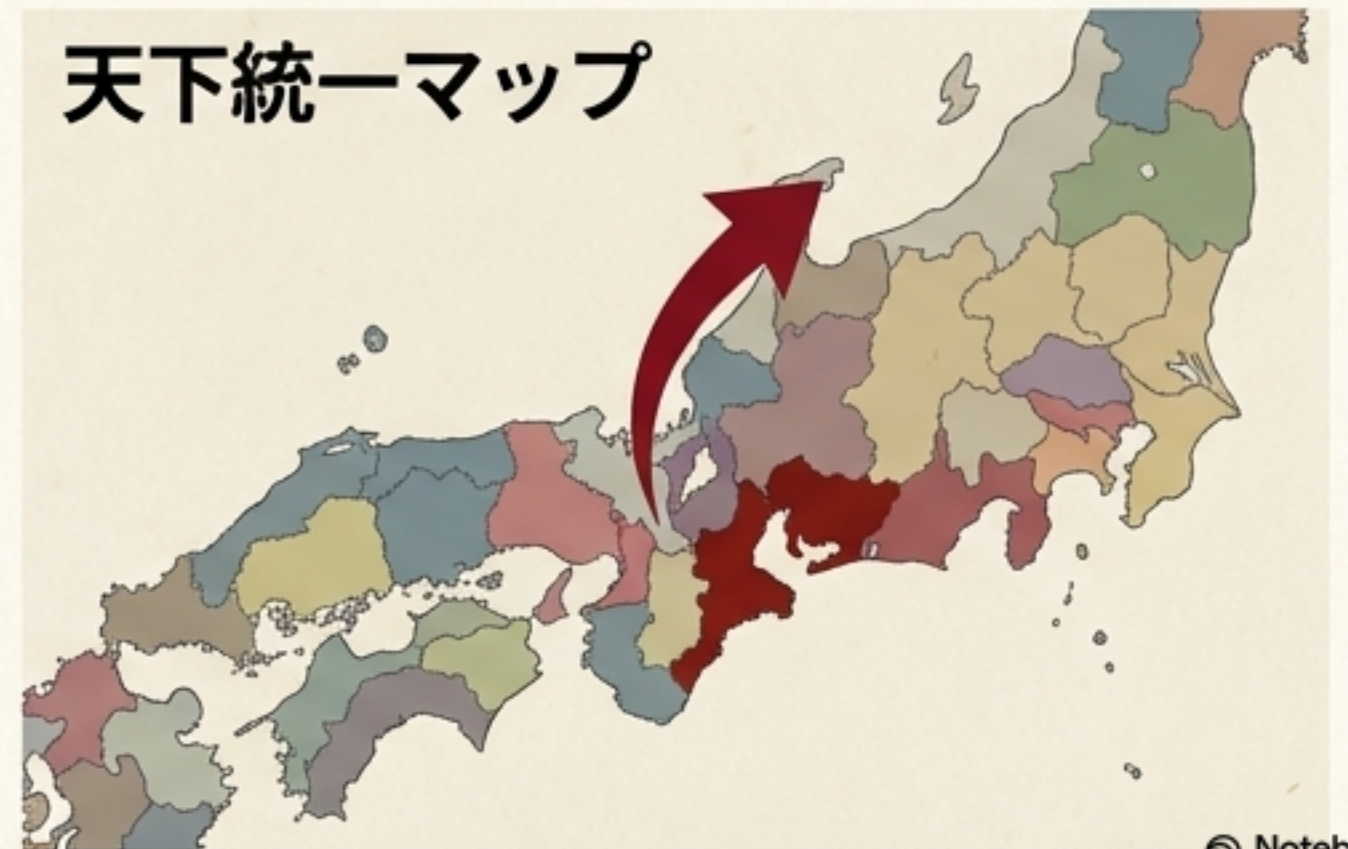
- 戦国大名(せんごくだいみょう)
独自の法律「分国法(ぶんこくほう)」を定め、領国を支配した。
- 下剋上(げこくじょう)
身分の低い者が実力で上の者を倒し、成り上がる風潮。

天下統一マップ



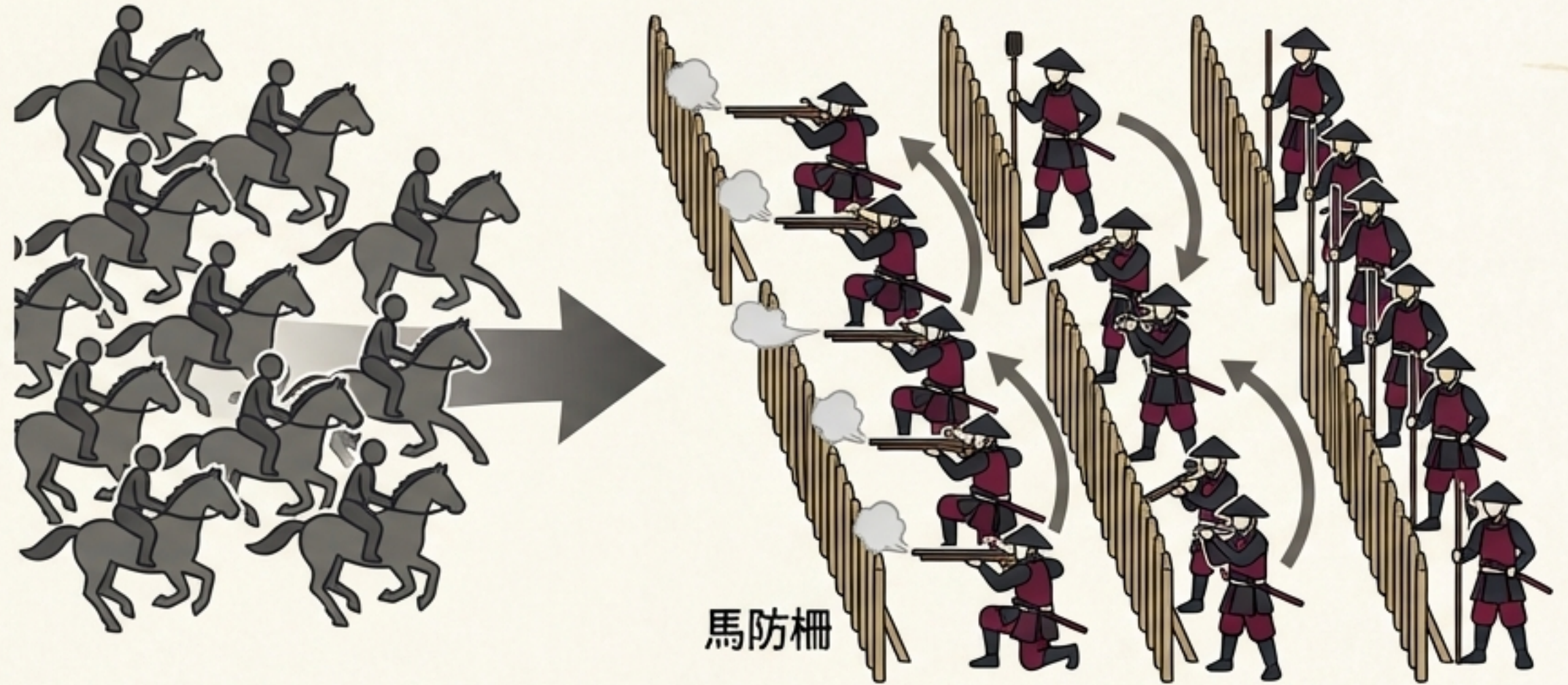
旧秩序の破壊者、織田信長の登場

1. 桶狭間の戦い (Battle of Okehazama) : 圧倒的少数の兵で、大名の今川義元 (いまがわよしもと) を討ち取り、一躍有名になる。
2. 室町幕府の滅亡 (Fall of the Muromachi Shogunate) : 15代将軍・足利義昭 ((あしかがよしあき)を京都から追放し、約240年続いた室町幕府を終わらせる。



鉄砲が戦を変えた「長篠の戦い」

当時最強と謳われた武田勝頼(ただかつより)の騎馬隊に対し、信長は大量の鉄砲を組織的に使用する戦術で圧勝しました。この勝利は、戦の主役が馬から鉄砲へと移り変わる時代の転換点となりました。



試験のポイント

- 鉄砲伝来(てっぽうでんらい) : 1543年、ポルトガル人が種子島(たねがしま)に伝えた。
- 長篠の戦い(ながしののたたかい) : 織田・徳川連合軍 vs. 武田勝頼

信長の革新的な政策：「楽市楽座」と「南蛮貿易」



経済の活性化

- 楽市楽座(らくいちらくざ)：座(同業者組合)の特権を廃止し、誰でも自由に商売できるようにした。
- 関所の廃止：物流を活発にし、商業を発展させた。



宗教勢力との対立

政治に介入する仏教勢力と対立。比叡山延暦寺(ひえいざんえんりやくじ)を焼き討ちにした。



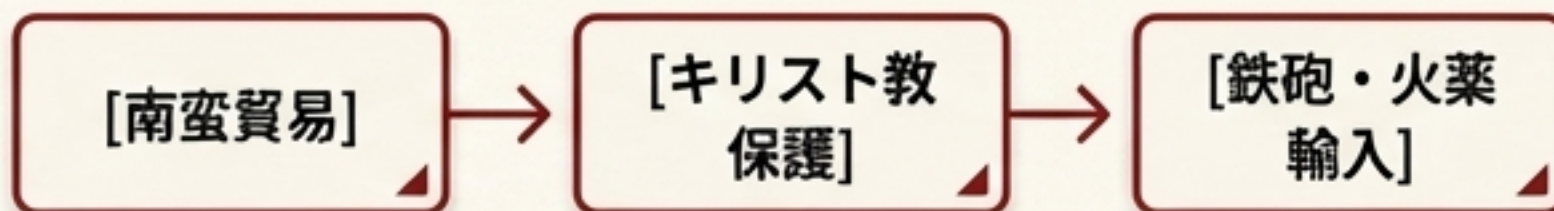
宗教勢力との対立

政治に介入する仏教勢力と対立。比叡山延暦寺(ひえいざんえんりやくじ)を焼き討ちにした。



キリスト教の利用

鉄砲や火薬の輸入のため、キリスト教を保護し、南蛮貿易(なんばんぼうえき)を積極的に進めた。



天下統一、夢半ば。「本能寺の変」



天下統一を目前にしながら、家臣である明智光秀(あけちみつひで)の裏切りにあい、京都の本能寺で自害しました。信長の死により、再び天下は混沌とします。

Key Locations:

・安土城(あづちじょう) - 信長の拠点 / 本能寺(ほんのうじ) - 最期の地



3つのポイントでわかる織田信長



旧弊の破壊者

室町幕府を滅ぼし、延暦寺を焼き討ちにするなど、古い権威を徹底的に破壊した。



軍事と経済の革命家

鉄砲の組織的利用や楽市楽座など、新しい発想で時代を切り開いた。



冷徹な合理主義者

目的のためには手段を選ばず、その非情さが家臣の裏切りを招いたとも言われる。

信長の後継者、豊臣秀吉の台頭

信長の家臣であった秀吉は、主君の死を知るとすぐさま行動を起こします。

- **山崎の戦い (Battle of Yamazaki)** : 明智光秀を討ち、信長の後継者としての地位を確立。
- **大阪城の築城 (Construction of Osaka Castle)** : 石山本願寺(いしやまほんがんじ)の跡地に、自らの権威の象徴として壮大な大阪城を築いた。



100年の戦乱、ここに終結。秀吉、天下を統一

天下統一マップ

秀吉は、巧みな交渉と圧倒的な軍事力で、次々と各地の大名を従わせました。最後の強敵であった関東の小田原 (おだわら)・北条氏 (ほうじょうし) を破り、ついに天下統一を成し遂げます。



新たな秩序の構築：太閤検地と刀狩

試験のポイント



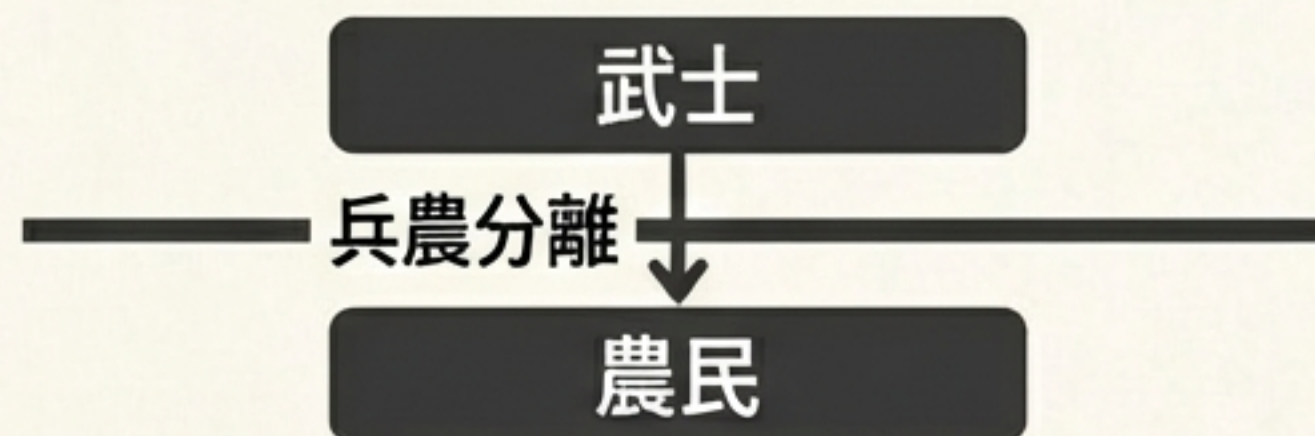
太閤検地(たいこうけんち)

- 目的：全国の田畑を測量し、米の収穫量を調査。年貢米を確実に集めるため。
- 特徴：全国の枡(ます)を統一し、計測基準を標準化した。

刀狩 (かたながり)



- 目的：農民から刀などの武器を取り上げ、一揆を防ぐ。
- 結果：武士と農民の身分を明確に分ける「兵農分離(へいのうぶんり)」が進んだ。



秀吉の野望、海を越える：朝鮮出兵



...朝鮮から連れてこられた陶工たちの技術により、後に有田焼(ありたやき)や伊万里焼(いまりやき)などの磁器生産が日本で盛んになった。

Side Note: 朱印船貿易(しゅいんせんぼうえき)も開始されたが、本格化するのは江戸時代。

3つのポイントでわかる豊臣秀吉



天下の統一者

(The Unifier of the Realm)

信長の事業を引き継ぎ、交渉と武力で全国を統一。100年以上続いた戦国時代を終わらせた。



秩序の建設者

(The Builder of a New Order)

太閤検地や刀狩により、全国的な支配体制と新たな社会の基礎を築いた。



巨大な野心家

(Man of Great Ambition)

農民から天下人へと上り詰めたが、その野心は朝鮮出兵という大きな失敗も招いた。

権力者の威光を映す、雄大で豪華な桃山文化



絵画

狩野永徳(かのうえいとく)
- 城のふすまや屏風に、金箔を背景とした力強い絵を描いた。



茶道

千利休(せんのりきゅう)
- 秀吉に重用され、「わび茶」を大成させた。



芸能

出雲阿国(いずものおくに)
- 「かぶき踊り」を始め、後の歌伎(かぶき)の原型となる。



建築

姫路城(ひめじじょう)
- 白漆喰の美しい姿から「白鷺城(しらさぎじょう)」とも呼ばれる、現存する代表的な城。

徹底比較！信長 vs. 秀吉

織田信長 (Oda Nobunaga)

キャッチフレーズ
破壊と創造

拠点
安土城

主要な戦い
桶狭間, 長篠, 延暦寺焼き討ち

主要政策
楽市楽座, 関所廃止, 南蛮貿易

天下統一
道半ばで終わる

豊臣秀吉 (Toyotomi Hideyoshi)

キャッチフレーズ
統一と支配

拠点
大阪城

主要な戦い
山崎の戦い, 小田原攻め

主要政策
太閤検地, 刀狩, 朝鮮出兵

天下統一
成し遂げた

秀吉の死、そして「天下分け目の戦い」へ



豊臣秀吉の死後、後継者問題から日本は再び不安定な状況に陥ります。次の天下をめぐり、全国の大名が二つに分かれて激突したのが「関ヶ原の戦い (せきがはらのたたかい)」です。この戦いに勝利した徳川家康が、260年以上続く江戸幕府を開くことになります。二人の英雄が築いた土台の上に、新たな時代が幕を開けました。